



ロータリー：
変化をもたらす

Rotary
第2750地区



Governor's
MONTHLY
LETTER 2018
ガバナー月信

6

Governor's Message

地区チームはクラブの為に

国際ロータリー第2750地区 2017-18 年度ガバナー 猿渡 昌盛



ロータリー：変化をもたらせ
ましたか？

親愛なるロータリアンの皆様
私の年度の最後のガバナー
月信となりました。一昨年1月
16日、期待と不安でサンディ
エゴ、マンチェスター・グラン
ド・ハイアット・ホテルを訪れ
たのが昨日の事のようにあり
ます。

本年度は地区独自のテーマは掲げずに「ロータリー：変化をもたらす」を活動のテーマに、RIの活動方針を各クラブにお伝えし、ご理解いただく事に努めました。柔軟なクラブの運営と持続可能な奉仕の実践に努め、各委員会の事業を推進させていただきました。一年間ご協力いただきましたロータリアン一人一人にお礼のご挨拶と、感謝の言葉をお伝えしたいと思います。

一番の思い出は地区大会で、柔軟な試みで午後からの開催とさせていただき、慌ただしい地区大会となりましたが、所期の目的は果たせたと思っております。姉妹地区も韓国第3650地区に加えて台湾の第3481地区と新たに締結出来たのも、今後の地区の活動にも変化をもたらす事が出来ると思っております。しかし、姉妹地区の交流は、クラブ間の交流が基本であります。姉妹クラブが数多く誕生して、両国の友好と親善に寄与していただければ、締結書面にサインしたガバナーとして有難く存じます。

又、地区大会の講演や演奏もパラリンピックや障がい者とのふれ合いをテーマにいたしました。世界中で活躍されるジャズピアニストの大西順子さんに、筑波大学附属視覚特別支援学校の生徒さん達のご指導をお願い致しましたが、生徒さん達の技量が、大西さんと会場の皆様の期待に応える事が出来るのか不安の連続でした。演奏終了後の大西順子さんと生徒さん達の笑顔を見た時に、奉仕の実践を目指し

た地区大会にしようとの一年間の苦勞が報われ安堵いたしました。地区大会の運営に携わっていただいた皆様に、改めて感謝申し上げます。

6月は、ロータリー親睦活動月間であります。親睦はクラブ内の旅行や懇親会に捉われがちですが、国際ロータリーでは親睦活動グループの結成に関する方針が決められています。共通の関心を持つロータリアンとその配偶者、また、ローターアクターから成る国際的なグループで、1928年にエスペラント語に興味を持つロータリアンが集まった事が始まりです。その後、国際ヨット親睦グループが誕生し今日まで活躍されています。カヌーやスキューバダイビングのグループ等では、河川の清浄プロジェクト等を実施しています。奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的なネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進する事とロータリー目的も掲げられた親睦と奉仕は、ロータリー活動の基本であります。詳しくは、RIのウェブサイトをご覧ください。

尚、イアン・ライズリー RI会長が提唱されましたロータリアン一人1本の植樹を行い、世界中に120万本の木を植える事業につきましては、お陰様で「奉仕のかわら版最終号参照」のように5,166本の木を植える事が出来ました。ご協力いただきましたクラブの皆様には、衷心よりお礼申し上げます。

最後に、6月23日より国際大会にご参加の皆様には、カナダを訪問するにはeTA(電子渡航認証 Electronic Travel Authorization)が必要です。インターネットには色々な代行業社のホームページがありますが、カナダ大使館より申請しますと7カナダドルにて申請出来ます。カナダ大使館の公式ホームページか、お知り合いの旅行業にて申請していただきたいと思っております。カナダに入国が出来なくなる場合も考えられます。是非、余裕をもって申請して下さい。国際大会にご参加の皆様、トロントでお目に掛かれる事を楽しみにしております。



2018-19 年度 地区研修・協議会

2018-19 年度 地区研修委員会 委員 金澤 洋 (東京新橋 RC)



4月16日、2018-19年度の地区研修・協議会が、ハイアットリージェンシー東京で開催されました。猿渡ガバナーのご挨拶

に続いて、服部陽子ガバナーエレクトから国際協議会の報告があり、まず、バリー・ラシンRI会長エレクトのテーマ「BE THE INSPIRATION (インスピレーションになろう)」が紹介されました。これは、周囲の人をインスパイアできる人、相手にやる気を起こさせる人、そういう存在になろうという意味であること。リーダーにとって大事なことは自分の言動をもって示すこと、その結果周囲の人が「私もがんばろう」という気持ちになったらそれがまさしくインスピレーションになったということであると説明されました。続いて、やはりバリー・ラシンRI会長エレクトが示された「ロータリーのビジョン声明」に触れ「自分自身の中で継続可能な良い変化を生むために」というところにロータリーらしさを感じるとコメントされました。

地区運営については、このほど立ち上げた地区としての戦略計画に基づいて継続的にクラブを支援していくこと、クラブとしてもきちんと戦略計画を策定し、魅力的で個性あるクラブを目指してほしいことを強調されました。

また、地区重点目標としては、「つながりの強化」をキーワードとし、そのためのツールとして地区ホームページをアプリケーション化すること、年度初めに地区の情報を網羅した「ガバナー月信特別号」を全会員に配布することを発表されました。

最後に、ロータリークラブはオーケストラに例えられるが、会長エレクトの皆さんのタクトで演奏を聴いた人が思わず踊りだしたくなるような演奏をしていただきたい。そして、世界へのインスピレーションに

なってくださいと締めくくられました。

続いて辰野次期地区研修リーダーから「クラブ役員の役割と責務」について、役員はそれぞれの役割に応じた研修を受講すること、組織の戦略計画を立てて実行することと示唆されました。

次に、水野功地区戦略計画委員会委員長からこのほど地区としての戦略計画が出来上がったこと、その中の地区ビジョンと行動指針について説明がありました。

この後グアムで開催される次期地区大会、ハンブルグで開催される国際大会について、またポール・ハリス・ソサエティ、会員増強・維持、ロータリーアプリケーションについて各担当委員長から説明があり、午前中の会議を終了しました。

午後は、下記五つの分科会A～Eに分かれてそれぞれのテーマで熱心なグループ討議がなされました。

分科会A：会長・幹事部会：「クラブ戦略計画について」「公共イメージについて」

分科会B：会員基盤・公共イメージ部会：「公共イメージ」「会員基盤」

分科会C：奉仕部会：「奉仕プロジェクト」「青少年奉仕」

分科会D：ロータリー財団部会：「ロータリー財団の紹介と活動内容の説明」

分科会E：米山記念奨学部会：「米山記念奨学事業について」ほか

分科会終了後再び全体会議が開かれ、分科会報告があり、そのあと辰野次期研修リーダーから講評が行われて16時半に無事終了いたしました。





2017-18 年度を振り返って

千代田グループ ガバナー補佐 森村 潔 (東京南 RC)



猿渡ガバナー、濃畑代表幹事はじめ、他の7人のガバナー補佐の方々と初めてお会いしたのは、2016年8月の第1回ガバナー補佐研修会の時でした。今ではその日のことが懐かしい思い出となりました。

私はロータリークラブに入会して25年ほどになりますが、その間ホームクラブにてクラブライフを楽しむばかりで、地区での活動の経験はほとんどありませんでした。今回グループ内各クラブを訪問してみると、同じ千代田グループのクラブでもかように個性が違い、またそれぞれのクラブが独自の奉仕活動を長年継続的に実施されていることに驚き感心いたしました。

- 東京グローバルRCでは、一昨年度の規定変更を先取りするようなユニークな例会が開かれています。またその名の示す通り海外経験を積まれた会員による地区補助金を活用された海外での奉仕プロジェクトを実施されています。
- 東京サンライズ汐留RCも、地区補助金を活用したPBグループを主眼とするプロジェクト他、海外における活発な奉仕活動を、20名弱の小さなクラブであるにも関わらずいくつも実施されています。
- 東京麻布RCは、地元麻布に根差した活動とともに、東北支援の活動を継続しておられます。

□東京みなとRCは、障がい者に理解ある住みやすい港区の実現へ向けて小学4年生を対象とした盲導犬出張教室を7年継続されています。

□東京赤坂RCには、昨今若手の会員、女性会員が多く入会され、雰囲気も変わり活発に地元港区に根差した活動を継続されています。

□東京新橋RCは、地区補助金を活用したカンボジアでのプロジェクトをはじめ15年継続されている上越市の棚田支援と、息の長いプロジェクトを実施されています。

□東京芝RCは、伝統である高い出席率(90%)を維持そして、新人会員同士知り合う機会の会を30年に渡って継続されています。

□東京南RCは、青少年交換留学生のための「オクトーバーフェスト」をはじめ、海外とを結ぶいくつかの教育プログラムに継続して支援をしています。

さて、千代田グループでは、交換留学生のホームステイ先探しに苦勞をしています。もちろん青少年交換プログラムの持つ意義を理解し、受入れホストクラブを超えての協力体制を敷いていますが、今期は大変難しい状況となり地区の青少年交換委員会の委員長方に、ホームステイ先の紹介等、大変お世話になりましたことを厚く御礼申し上げます。

一年を省みて自分のクラブに籠もっているだけでなく、他のクラブを知ることの大切さを感じた1年でありました。お会いした多くの皆様へ感謝!申し上げます。

2017-18 年度を振り返って

銀座・日本橋グループ ガバナー補佐 小野木 隆雄 (東京シティ日本橋 RC)



ガバナー補佐を仰せつかって、「何をしたら良いのかな?」から始めなければなりませんでした。

ガバナーの立場や仕事(ロータリーライフは、課題を持って、クラブ活動に参加することが重要)が私自身としてわかっていない状況で

すから、ロータリーの地区役員会が開催されるたびに、編入直後の転校生の様で、会話を理解するのがとても難しいことでした。

オブザーバー参加した、PETSや各委員会の勉強会を通して、少しずつ情報が得られ、ガバナー公式訪問を準備しながら、各クラブの年次計画・活動方針を読ませてもらいまして、各クラブの特徴(メンバー構成や歴史・伝統)の理解に努めました。

又、ガバナーの考え方・方針を把握し、「ガバナー公式訪問」で効果的に成果が上がるように調整することが大切です。

ロータリーは長い歴史がありますが、ロータリー財団や各プロジェクトの運営をよく理解し、しっかりした理念に基づいた組織・運営が行われていることが、立派な伝統を作り上げ、継続して行くことの基礎だと考えます。

このジャンルについて、各クラブと話が出来なかったのも事実です。広い範囲の勉強になりますから難しいですが、2、3でも良いからテーマを決めて、グループ協議会で討論したら良かったと思っております。

もう時間が殆どなくなってしまいましたが、何も出来なかったという残念な気持ちと次期ガバナーに協力したい気持ちを抱きながら最終コースを歩いております。



2017-18 年度を振り返って

京浜グループ ガバナー補佐 森田 光一 (東京大森 RC)



研修期間を含め23ヶ月、暗中模索の中、消化不良も否めず責務を果たせたかRLI同様評価表が気になる処です。「地区チームはクラブの為に」を掲げられた猿渡ガバナーの下地の下、クラブの柔軟性が求められ裁量権の拡大する環境の割にはロータリー情報が希薄に感じられる昨今、「ロータリーって何?」をテーマとして、クラブ(会長)にどのようなサービスが提供できるかが課題と感じました。グループ協議会では互いの状況交換と会長の例会での位置づけ等テーマを幾つか取り上げフリーディスカッションの時間をなるべく多く取り、関連資料の提供を試みましたが常設委員会のプレゼン時間との闘いで充分に出来なかったことが残念でなりません。

協議会の他には二つの課題に取り組み、「新会員勉強会」では入会3年未満会員を対象としましたが会長・幹事を含め約60名を会し、福井研修リーダー補佐を始めRLI委員会のご協力にて“ロータリーとは”、“ロータリー

の目的について”をテーマに“決議23-34”の読み合わせとRLI委員会のDLによる活発な討議が出来たことは難しかったかも知れませんでした。懇親会の様子からも充実したことが感じられます。IMについては昨年7年ぶりの開催の2年目であり、私なりに改めてIMの必然性を考えざるを得ませんでした。本来の姿である「ロータリー情報の提供と教育的要素」と親睦を伴う研修機関であるとのコンセプトで実施しました。当日は地区役員の方々、予想以上の他グループの会員を含め約230名の参加者にてテーマを「ロータリーって何?～来し方・行く末～」とし、札幌東RC所属2005-06年2510地区ガバナー塚原樹様を講師にお招きしての基調講演は期待以上に勉強の場となり、その後の東京中央新RC会員の皆さんの“ギリギリガールズ”と複数クラブ合体の会員による“ローガンバンド”の懇親会は大いに盛り上がったのが印象的でした。

最後となりましたが、冒頭にも申し上げましたが力不足で消化不良を否めない中にも皆様のご指導、ご協力をいただき、お陰様で任期を全うできましたことに感謝と御礼を申し上げます。



2017-18 年度を振り返って

山の手東グループ ガバナー補佐 波多野 容子 (東京恵比寿 RC)



2016年8月2日京王プラザホテルで開催されました第1回ガバナー補佐研修会は、2017-18年度に向けて、心引き締まる会となりました。

年度前に開催される地区チーム研修、PETS、地区研修協議会と徐々に重責を感じつつ、7月

1日猿渡年度のスタートとなりました。

今年度のガバナー公式訪問は、ガバナーのご意向もあり、山の手東11クラブは、合同ではなく各クラブの希望に沿った開催とすることが出来ました。

西RC、恵比寿RC、広尾RC、渋谷RC、六本木RC、愛宕RCが単独、原宿RC、神宮RCが2クラブ、城西RC、西南RC杉並RCの3クラブが合同での公式訪問となりました。

大変お忙しい中、お時間も十分にとっていただき、各クラブの特色及び年間の活動について、直接ご理解とご指導をいただく良い機会となりました。ご対応に深く感謝申し上げます。

また今年度はガバナーのご要望もあり、全クラブにご

賛同をいただきIMを開催することが出来ました。

2020年の東京オリンピックに向け、オリンピック競技に親しみ、会場に足を運んで応援しようという趣旨のもと、競技人口6,000人というフェンシングにスポットを当てることになり、年度スタートと同時にグループ協議会とは別に、IM実行委員会を立ち上げ、各クラブから委員を選出いただき、毎月検討を重ねてまいりました。

11月28日当日は、北京オリンピック銀メダリストであり、2017年8月日本フェンシング協会会長に就任されました太田雄貴様をお招きすることが出来、競技の注目ポイント、観戦時の楽しみ方などご伝授いただき、山の手東グループ11クラブメンバー、ご来賓の地区役員の皆様にも多数お越しいいただき、総勢330人の会場は大いに盛り上がりました。

猿渡ガバナーを始め多くの方々にお褒めの言葉をいただき、関係者一同達成感を感じた一日となりましたことは、今も深く記憶に残っております。

トロントでの国際大会への参加が本年度の締めくくり、無事終了致します事を願って、一年間ありがとうございました。

2017-18 年度を振り返って



ガバナー補佐をお受けするに当たり、某ガバナー補佐からお願いされ指名プロセスの曖昧さに驚きました。山の手西グループではガバナーエレクトの指名で決められて来た記憶していました。次に驚いたのは①幹事と副

幹事の業務の共用。②地区役員会等でのガバナー補佐報告の時間の割当が少なく、そのために担当するグループの各クラブの活動状況の報告が不十分でした。③今期は委員会への出席要請が大変に多かった。④ガバナー補佐の重要性を理解していただいていたか。私は、前 國尚グループ幹事にお手伝いいただけることで大変助かりました。

山の手西グループでは、年度初めの7月にIMを行う事としました。それは故小粥ガバナーエレクト・前 國尚地区幹事で検討して親睦と交流は初めに行うことでIMの意味を伝える。IMの開催については色々な見解があります、山の手西グループでは毎年行われて来ました。そこで今期もグループ協議会で各クラブの賛同を受けて

山の手西グループ ガバナー補佐 榎本 又郎 (東京成城新 RC)

人頭分担金の了承を得て開催しました。コンセプトはRIの永遠のテーマの水と親睦です。「東京の水問題を中央大学の山田教授による講演」「クラブ間の親睦と交流」としました。

山の手西グループには素晴らしい働きの若者と経験豊富なロータリアンで構成された最古参の世田谷RCを中核に最新の米山友愛Eクラブまであります。

その為グループ協議会の最初の会議で手続要覧にあるロータリー基本理念の中核的価値観で「ロータリーの目的」「4つのテスト」「ロータリアンの行動規範」などの行動規範(ロータリー原点)を重視して各クラブが発展的活躍をしていただく様、お願いしました。暦年が違う関係で各々の活動計画はガバナー賞を目標に各クラブの個性・人材・理念にあった設定をして頑張っていたたく事としました。最初のグループ協議会でグループ内での会員移動が起りましたが、猿渡ガバナーにお気遣いいただき一件着落しました。

期間短縮にも関わらず大変素敵な地区大会でした。私としては壇上でクラブ会長さんをご紹介が出来たらと思いました。

2017-18 年度を振り返って



カール・ヴォルフスケールという詩人がいた。グンドルフと並んでドイツの精神世界と政治に多大な影響を及ぼした「ゲオルゲ・クライス」の中心人物である。2015年7月、ドイツのロータリー誌は「追放された精神」とい

う記事で、ミュンヘンロータリークラブ創立メンバーの一人でドイツロータリー誌創刊時の編集者でもあった彼を追想した。ナチスに迫害され最終的にニュージーランドへ移住したヴォルフスケールを助けたのはロータリークラブだったらしい。

多摩南グループIM開催に際し多少ロータリーの歴史を調べた時に、上記のことを知ったのだがすでに懐かしい思い出となった。「本音のロータリー」と銘打ったIMは小坂実行委員長はじめ実行委員諸兄のご尽力とグループ内11クラブ会員の主体的参加により極めてユニークなものとなり、320名を超える出席者を得て盛会裡に終了。八王子ロータリークラブの諸兄には親身にご支援

多摩南グループ ガバナー補佐 松本 啓祐 (東京八王子 RC)

をいただき、堀会長・高木幹事のリーダーシップのもとIMのホストクラブとして重責を担っていただいた。改めて感謝の意を表したい。

6回のグループ協議会を開催、メールリンクの有効的利用と相俟って、規定審議会での大幅なルール変更と国際ロータリーの方向性が模索される状況下でクラブ間のコミュニケーション向上を計り得たことは、猿渡ガバナーと地区役員諸兄のご指導とご協力はもとよりグループ内各会長・幹事・事務局の皆様のご尽力による。感謝に耐えない。

各クラブの奉仕活動に触れる機会を得たことは貴重な体験だった。町田・日野・八王子地域の活動の多くが地元の人々との地道な共同作業であり未来を志向している様子は、これからのロータリーの道標に成り得るといえるだろう。多くのイベントにご同行いただき終始ご助力をいただいた青木グループ幹事と裏方のお仕事を担っていただいた深谷事務局員に感謝の念を捧げ、拙稿を終えることにする。



2017-18 年度を振り返って

多摩中グループ ガバナー補佐 村上 隆秀 (東京国立 RC)



多摩中グループは、三鷹、小金井、国分寺、国立、立川、昭島の6市の13クラブで構成され、各クラブから順番に年度送りでガバナー補佐とグループ幹事を選出することになっています。ガバナー補佐、グループ幹事はグループ内クラブの会長・

幹事に地区ガバナーからの伝達事項やRIから伝達される活動方針などを忠実に伝える役目と、13クラブの会長・幹事の皆さんの一年間のクラブ運営のお手伝いをするを主な任務としています。私は各クラブ会長、幹事26名が参加するグループ協議会の雰囲気作りに注力し、各クラブがお互いに良い刺激を受け合い、最高の一年間になるよう心掛けて参りました。

2016年8月2日、京王プラザホテルでの第1回のガバナー補佐研修会からスタートして、地区役員会常設委員会のセミナーなど出席はかなりの回数になりました。

いよいよ2017年7月からスタートとなり、まずは全クラブへの表敬訪問から始まりました。あらかじめ、グループ幹事の山崎さんと事務局の間島さんに各クラブと

のスケジュール調整をしていただき、7月中には回り終えました。その後、各クラブのクラブ協議会とガバナー公式訪問が9月、10月と続いて開催され、グループ幹事ともども出席いたしました。

ガバナー補佐の職として各クラブの年間活動方針、年間予算計画を目にする事になりましたが、私がこれまで想像していた以上に、それぞれのクラブの伝統と歴史に応じて各クラブとも地元地域や国内外で奉仕活動をしっかり行っている事に気が付きました。

また、奉仕活動を行う一方で、会員相互の友情や助け合いなど非常に目を見張る情景も数多く経験させていただきました。今年度は当グループ内で5クラブの周年行事が開催されましたが、これも日頃は行われない行事であっても、お祝いというお祭りを成功させようと、自然に全員が協力をして一つになり、感動する式典と祝宴が開催されました。

ガバナー補佐という広い立場で各クラブにお邪魔をして、先人達が築き上げた伝統と歴史の上に、それぞれのクラブ運営がなされている事を改めて痛切に感じ、非常に大きな勉強させていただいた一年間でした。

2017-18 年度を振り返って

多摩東グループ ガバナー補佐 粕谷 啓之 (東京調布むらさき RC)



今年度、多摩東グループからガバナーとして猿渡昌盛さんが輩出されました。1990-91年度 秋山パストガバナー以来、26年ぶりです。

多摩東グループではガバナー補佐の輩出が各クラブ持ち回りとなっていたのでお引受けしましたが、準備段階から責任と緊張感を持ち、ガバナーを輩出したグループとして会員の方々と共に応援し活動してまいりました。年間の活動報告いたします。

9/2 梨もぎ・BBQ大会
若手ロータリアンの親睦を深めるため、梨もぎ・BBQ大会を実施。

9/2 梨もぎ・BBQ大会

この行事は、多摩東グループ全10クラブの若手ロータリアンが、クラブの垣根を越えて親睦を図ることで、ロータリーへの帰属意識を深め、奉仕の精神を養うこと、また、クラブの垣根を越えた親睦を外部に周知することで、ロータリーの対外イメージを向上させること、及び、ロータリアンの家族にロータリーの活動を知ってもらうことを目的とした。総勢92名が参加し、同じ釜の飯ならず、同じ網の肉を食い、膝を交えて語り合うことで、互いに理解を深め、ロータリアンとしての自覚を持つことができた。参加者からは早速に来年の開催を期待され、実り多い秋の行事となった。



2/ 26・27 地区大会
多摩東グループからは209名約60%の出席率だった。イアン・ライズリー RI会長の掲げた変化は成し遂げられた

2/ 26・27 地区大会

のだろうか？ 各クラブの奉仕に対する総意と工夫を確認しながら懇親を深めた大会であった。2020オリンピック・パラリンピックに向けて、記念講演や公演は胸を打つものがあって大いに役立ったものと思う。

4/5 多摩東グループIM

IMのテーマは「ロータリー米山記念奨学事業は、人材育成」米山記念奨学会の財団設立50周年記念DVDを上映し、基調講演を学友のジャンチブ・ガルバドラッハさん(モンゴル1998-99 / 山形北 RC)と、ジギャン・クマル・タパさん(ネパール / 2008-09 / 横浜たま RC)にお願いし、二人の話に感銘を受けたロータリアンが即日多額のご寄付をさせていただいたほど、米山学友の活躍が伝わるすばらしいスピーチだった。懇親会ではアトラクションとして、コリーン、クリスティナ・シュムコーさん(アメリカ / 2014-16 / 東京葛飾 RC)が、会場を巻き込みながら三味線や篠笛の演奏を披露し、米山記念奨学事業への理解が深まったとの声をいただいた。会員同士の親睦にも大いに役立った。



5/24 ポリオチャリティー親睦ゴルフ大会(よみうりゴルフ倶楽部)

ゴルフコンペ参加者(総勢100名程)を募り実施。参加費の一部をポリオ撲滅チャリティーとしてロータリー財団に寄付をした。例年のように実施しているクラブ対抗とはせず、多くの会員が参加できるよう働き掛け大いに親睦を深めた。



2017-18 年度を振り返って

会員委員会 委員長 田中 隆 (東京八王子北 RC)



地区チームはクラブの為に「変化の年・躍進の年」をモットーに猿渡年度の会員委員会はスタートいたしました。会員委員会は3つの小委員会で構成され、①会員増強・維持委員会委員長 吉田純夫(東京三鷹 RC)②会員サポート委員会委員長 平塚隆

志(東京蒲田 RC)③クラブ情報委員会委員長 萩原道雄(東京世田谷南 RC) 総勢 18名のメンバーで1年間クラブ活性化の為にお手伝いさせて頂きました。

2018年5月7日に地区へ提出いたしました、会員委員会推薦の「会員増強賞」(入賞対象クラブ48クラブ)の結果を調べていて、興味深い相関関係が見えて来ました。それは、2017年3月22日に開催されたPETSの分科会「会員基盤の強化とクラブ活性化の意見交換会」の各クラブの会長さんの議事録を読み返すと、増強に対する「熱意表明」と具体的に高い「目標」を設定された会長さん。更に例会時のマンネリ化対策「席順の月1回抽選の実施」「テーブルを替えて、古い会員と新しい会員のコミュニケーション」を積極的に取り組みますと表明した会長さんのクラブが会員増強賞に多く入賞されていました。

また、8月の会員増強月間中に卓話の申し込みをいただいたクラブ23クラブ中、なんと11クラブが(48%)が会員増強賞の入賞対象クラブでした。おめでとうございます。

2017年9月に開催いたしました地区会員増強セミナーには地区内クラブより150名ものご登録をいただき、セミナー講演でRI第1、第2、第3ゾーン地域別会員増強計画プロジェクトリーダー補佐の鈴木隆志氏は「会員増強(売上)は会長(経営者)の最重要課題」。クラブ会長が「強い決意」をして、クラブ内で共有できるか? 「クラブの発展」→「会員を増やすこと」と強調。

2018年1月29日第1回新会員セミナーではテーマ:「ロータリーのこと 何でも聞いて何でも解る!」をRLI委員会&青少年交換委員会と合同開催し参加者188名(新会員105名)新会員の同期会(大猿会)の結成と交換学生との交流会で国際ロータリーの教育&平和活動の一端を学んでいただきました。

引き続き、2018年6月17日には第2回新会員セミナー(第1回大猿会)を開催予定です。

地区大会2日目2018年2月27日「新会員歓迎昼食会」では、ポリオプラス委員会と合同開催しRI第3ゾーンEND POLIO NOWゾーンコンディネーター 松本祐二氏をお迎えして「何故ロータリーはポリオ撲滅を目指すのか!」の記念講演を開催。ロータリーが目指す奉仕の精神を学びました。登録192名・新会員参加者155名全員とガバナーを中心に入会歓迎記念撮影をいたしました。ロータリーライフでの最高の思い出の写真の1枚と言っていたら嬉しいです。

地区大会の会長・幹事会ではクラブ情報委員会が各クラブアンケートをまとめた調査報告書を全クラブへ配布し、情報の共有化を図りました。クラブ活性化のお役に立てれば幸いです。

クラブ会員の皆様への会員増強賞ですが、第1回目:2017年7-9月入会分 第2回目:10-2018年1月入会分 第3回目:2018年2-4月入会分 は実施済みです。残り第4回目:2018年5-6月入会分 となりました。最後までお世話になりますが、よろしく願いいたします。





2017-18 年度を振り返って

奉仕プログラム委員会 委員長 齋木 修次 (東京銀座新 RC)



「奉仕」はロータリーの表看板です。すべてのクラブが奉仕をスムーズに行うことができるサポートを旨に活動して来ました。全体での一番のイベントは3月27日の「奉仕のつどい」でした。発表していただいた12クラブの皆様にご感謝申し上げます。非常に示唆に富む内容で地区内の奉仕の質の高さを実感いたしました。

またイアン・ライズリー RI 会長提唱のロータリアン一人1本の植樹活動の推進をさせていただきました。地区目標5,000本を見事に達成いたしました。各クラブの皆様にご心より御礼申し上げます。以下各委員会につき言及させていただきます。

●職業奉仕委員会

職業奉仕はロータリーが単なる奉仕団体ではない事を示す中核的な思想です。今年度も木村委員長を中心に25回のクラブ卓話を行いました。10月30日には「職業奉仕セミナー」を開催し職業奉仕に関する歴史的な変遷や論議につき解説をいたしました。120名のご参加を

得て大変奥深い内容となりました。

●地域社会奉仕委員会

地域社会奉仕のあり方につきRIのとらえ方がここ数年変わって来ています。まず自分自身の生活している地域社会、そして自分の仕事の地域、そしてロータリーの所属する地域社会への奉仕が掲げられています。これらにつき各グループ協議会やグループ毎の地域社会奉仕委員会を通してお伝えしてまいりました。

更にデータベースの充実を図り2750地区HP上にアップを推進いたしました。

●国際親善委員会

地区内クラブ合同プロジェクトの紹介を行って来ました。特に今年度よりスタートしたパラオ・ミクロネシア医療・教育支援プロジェクトの下支えを致しました。

●国際親善委員会

日韓親善、日台親善に関する様々な準備、地区大会での全ての歓送迎、もてなしを担当し両国のロータリアンにご満足いただく事が出来ました。

一年間本当にありがとうございました。

2017-18 年度を振り返って

青少年奉仕委員会 委員長 星野 勇介 (東京山の手 RC)



青少年奉仕委員会は5つの委員会を束ねて青少年奉仕委員会を構成しています。国際ロータリーのプログラムとして、それぞれインターアクト委員会、ローターアクト委員会、青少年交換委員会、RYLA委員会そして2750地区ではインターンシップ委員会を含めて青少年奉仕委員会と総称しています。

インターアクト委員会では2017年9月に東京世田谷南RCが提唱して、東京都市大学等々力中学校・高等学校にインターアクトクラブが創立されました。

ローターアクト委員会では2017年11月に東京恵比寿RCが提唱して社会人を中心とした恵比寿ローターアクトクラブが創立しました。今期末には関東ブロック・ローターアクト研修会が、2750地区のローターアクトクラブが主催して東京代々木オリンピック記念青少年総合センターで開催いたします。当地区のローターアクトクラブは昨年もグアムで全国ローターアクト研修会を開催してそのパワーには目を見張るものがあります。

今年度のRYLA委員会は、周知度と認知度を上げることを目標として活動を続けてまいりましたが、2750地区では認知度が上がり40名の受講者が2泊3日の研修を修了して修了者はリーダーシップを発揮して各々の企業や地域社会に貢献していると思います。

また地区内での認知度が上がり次年度は多くの受講者が期待できます。次年度にはお隣の2580地区もRY

LA委員会が当地区の協力を得て設立される予定です。

青少年交換委員会では10名の来日生と8名の派遣候補生でスタートしましたが、来日生は、6月17日の来日生修了式、そして派遣候補生激励会が予定されています。来日生は修了式を終わると帰国準備に入り、派遣候補生は渡航準備が始まります。

次年度委員会は受入準備態勢になり忙しい時期を迎えます。今年は、会員委員会との共同プロジェクトで新会員セミナーに来日生とのジョイントプログラムを実施して青少年交換プログラムを理解していただき、6月17日には来日生との交歓会も予定されています。新会員に青少年交換プログラムを理解していただく良い機会となりました。

インターンシップ委員会は、坂本ガバナー年度で東京都との協定後、昨年設立10周年を迎えました。今年度の6月には東京都庁にてインターンシッププログラム設立10周年記念式典が予定されています。毎年ご協力いただいている企業、ロータリアン企業の皆様には感謝申し上げます。

青少年奉仕委員会の目標として、青少年5プログラムが相互に理解し合い委員会の垣根を取り除き委員会同士のコラボレーションを活発にして、これに2020年東京オリンピック・パラリンピックまでに2750地区スポーツ支援委員会と共にロータリーファミリー活動としてパラリンピックを支援したいと思います。



2017-18 年度を振り返って

公共イメージ(広報)委員会 委員長 清野 修一 (東京町田サルビア RC)



ロータリーマーク(誇りのシンボル)からRotaryの文字が入ったロゴへの変更には象徴されるように、一般社会でのロータリーのイメージの向上は、会員増強のための布石であり、RIが最重要視している分野の1つです。「公共イメージと認知度の向上、広報活動の積極的推進」と今年度の地区強調事項にも指定されておりました。これを実践するには、各クラブの皆さんがその活動において地域社会へアピールしていただく事が第一であるという事で、クラブの情報発信のお手伝いを前提に委員一同1年間活動して参りました。具体的には、ロータリーの活動をアピールするポスターの作成、前年度に募集した地区のイメージキャラクターの決定、地区公式Facebookページの公開などです。また、PETSの際に各クラブの会長の方々にご協力いただいたアンケートに基づき、10月2日に行った広報・IT基礎セミナーでは「クラブの広報手法について」としてメディアへの発信の仕方、ケーブルテレビへの取材依頼方法等を取り上げさせていただきました。

小委員会には織田ゆり子委員長率いるIT委員会があります。年度始めの7月からMY Rotaryも大きく変わりましたが、同セミナーでも大きく取り上げさせていただきました。また、地区のホームページも7月から大きく変更し、各クラブが地区内のロータリアンに向けて情報発信をできるような形に致しました。是非ご利用ください。同ホームページではメイクアップ向けの例会会場検索

について、2020年に向けて英語版も作成して掲載しております。

同様の情報発信として、地区内ロータリアンの経営する飲食店を紹介する「Rotary Dining Tokyo」というFacebookページもスタートしております。これは、地区内のロータリアン向けであるとともに、いずれ掲載飲食店を検索した一般の方々にロータリーに興味を持って貰うツールに育てていきたいと考えております。応募をお待ちしております。



2017-18 年度を振り返って

ロータリー財団委員会 委員長 高橋 茂樹 (東京世田谷 RC)



まもなく猿渡ガバナー年度も終えようとしています。ロータリー財団委員長は3年間その職務に就くことになっていますので、私はもう1年ロータリー財団委員長を続けさせていただきますが、お陰様でこの財団委員長2年目の年度も滞りなく順調

に推移しております。これもロータリー財団に対しまして多大なご支援をいただいております各クラブの皆様、地区チームとしてロータリー財団を支えていただいております地区役員の皆様、そして一緒にロータリー財団委員会の運営に携わっていただいている委員の皆様のお陰と、心より厚く御礼申し上げます。

2017-18年度はロータリー財団が創立101周年という新しい世紀に船出をした年となりましたが、各クラブの皆様には多大なご支援、ご協力をしていただき、お陰様で2017-18年度も大変に素晴らしい結果が残せそうな状況となっております。ロータリー財団への寄付にしましては、過去最高額のご寄付をいただいた2016-

17年度に現在あと一歩というところまで来ております。

また、恒久基金へのご寄付やポリオプラスへのご寄付も、すでに総額では地区目標を超えるご寄付を頂戴することができております。現在、2016-17年度に達成をすることができた「年次基金への寄付0クラブ0」の目標に向けて、更に皆様のご協力をお願いしている次第です。

補助金は、地区補助金が57件、グローバル補助金が7件(人道的プロジェクト:4件、奨学金:3件)を承認し、内容のあるプロジェクトが行なわれております。グローバル補助金を利用した奨学生も2017-18年度として5名の奨学生を派遣することができました。

その他、ハンドブックのリニューアル、ロータリー財団委員会のホームページの立ち上げ、ポリオプラスセミナーの地区として初めての開催等、数多くのことを実行させていただきました。

あらためて、各クラブの皆様、地区役員の皆様、委員会委員の皆様にご心より厚く御礼申し上げます。残り少ない期間となりましたが、年度末に向けて、引き続きご支援のほど、心よりお願い申し上げます。



2017-18 年度を振り返って

米山記念奨学委員会 委員長 江川 明裕 (東京築地 RC)



本年度は公益財団法人ロータリー米山記念奨学会にとって、記念すべき財団設立50周年を迎えた年度でありました。

記念式典のフォーラムでは、「世界に平和の種をまく～米山記念奨学事業、未来への提言～」についての熱の入ったディスカッションがなされました。

また、前年に行われた「世界米山学友による感謝in熊本」に於いても、国内外の学友・学友会の横のつながりを深めていく「世界米山学友会」の発足が決議されました。

財団設立50周年を節目に、未来へ向けて動き始めた年度になったと言えると思います。

さて、我が2750地区米山記念奨学委員会は、選考・推進・学友の3委員会構成されています。企画・立案を各々の委員会が担当しますが、その事業の実施には横断的に3委員会の全ての委員があたり、本年度も大いにチームワークが発揮できた年度だったと思います。

選考委員会は、柳賢司委員長のもと「期待される奨学生像」すなわち、「学業が優秀なだけでなく、母国に限らず国際社会でも活躍し、世界平和の創造と維持に貢献する人物」を選考、育成する為、推薦していただく指定校への説明会、選考された奨学生及びお世話いただくカウンセラーへのオリエンテーション等のプログラムを実施致しました。

推進委員会は、松尾英子委員長のもと2回の奨学委員長セミナーを通し、事業への理解の推進をはかりました。また、米山月間のみならず一年を通して奨学生、学友、委員の卓話を実施し、更なるご理解と寄附の増進に繋げるべく多くのクラブにお伺い致しました。

学友委員会は、澤田尚史委員長のもと奨学生達が多量のロータリアン、学友、同僚奨学生との交流を通して、ロータリー活動を理解し、ロータリーファミリーの一員として成長してもらえる様に、夏・冬の懇親会、広島研修旅行、米山梅吉記念館訪問を実施致しました。

最後になりましたが、頼りない委員長を支えていただきました米山記念奨学委員会委員の皆さん、ご指導いただきました地区役員の皆様、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。





文庫通信 (368号) <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50 周年記念事業の一つとして 1970 年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約 2 万 4 千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページで PDF もご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

文庫資料から

- ◎「私がロータリアンになって学んだこと」
田中作次 2017 1p (D.2660地区大会参考資料)
- ◎「素晴らしいロータリアンであり続けるために」
渡辺好政 2018 3p (D.2790地区大会記念誌)
- ◎「奉仕の理想(理念)と職業奉仕論について」
渡邊宏二 2018 2p (D.2530月信)
- ◎「これからのロータリーを考えるー規定審議会より見えるものー」
三木 明 2018 7p (D.2780地区大会報告書)
- ◎「『四つのテスト』に対する愚見」
岡田幹矢 2018 1p (D.2710月信)
- ◎「ロータリーの今日的課題」
鈴木秀憲 2018 17p (D.2530地区大会記念誌)
- ◎「会員増強の新しい考え方」
2018 2p (D.2650月信)
- ◎「会員増強の発展(3つの方法があります)」
加藤玄静 2017 1p (D.2660地区大会参考資料)
- ◎「会員維持のための12のポイント」
加藤玄静 2017 1p (D.2660地区大会参考資料)
- ◎「夢を語り、現在(いま)を刷新(ガバナー月信ロータリーコラム総集編)」
刀根荘兵衛 2017 67p

上記申込先：ロータリー文庫

〒105-0011
東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館
午前 10 時～午後 5 時
休館
土・日・祝祭日

この記事は、各クラブへの
「ガバナー月信 配信版」で
ご参照ください。

この記事は、各クラブへの
「ガバナー月信 配信版」で
ご参照ください。

★国際ロータリー第 2750 地区出席報告 (4 月分)★
District 2750 Membership Attendance Report April 2018

G	クラブ名	例会	出席率	会 員 数			G	クラブ名	例会	出席率	会 員 数		
				17年7月1日	18年4月末	増減					17年7月1日	18年4月末	増減
千代田グループ	東京南	4	65.98	189	195	6	多摩南グループ	東京八王子	4	85.78	61	65	4
	東京芝	4	92.24	50	52	2		東京町田	4	69.97	50	51	1
	東京新橋	4	79.44	55	62	7		東京日野	4	74.43	35	35	0
	東京赤坂	4	68.00	57	57	0		東京八王子西	3	86.93	102	111	9
	東京みなと	4	81.98	44	44	0		東京町田・中	4	77.56	31	27	-4
	東京麻布	4	40.60	20	17	-3		東京八王子東	4	89.58	22	25	3
	東京グローバル	4	47.62	26	24	-2		東京八王子南	4	83.33	79	82	3
	東京サンライズ汐留	3	80.00	17	13	-4		東京町田サルビア	4	61.38	30	30	0
銀座・日本橋グループ	東京銀座	4	69.63	169	175	6	多摩中グループ	東京飛火野	4	92.00	26	25	-1
	東京日本橋	4	76.95	208	201	-7		東京町田東	4	74.13	27	30	3
	東京築地	4	82.72	71	72	1		東京八王子北	4	83.10	42	40	-2
	東京日本橋東	4	76.56	52	48	-4		東京立川	4	96.39	108	108	0
	東京中央	4	65.56	210	218	8		東京小金井	4	95.30	37	38	1
	東京日本橋西	4	83.23	42	42	0		東京国分寺	3	96.83	41	40	-1
	東京銀座新	3	78.26	78	76	-2		東京三鷹	4	64.93	48	46	-2
	東京シティ日本橋	3	73.33	39	40	1		東京昭島	4	93.49	47	52	5
	東京中央新	4	61.10	48	57	9		東京国立	4	95.62	46	49	3
	東京あけぼの	3	75.00	18	20	2		東京立川こぶし	4	90.35	90	92	2
京浜グループ	東京山王	4	72.80	33	35	2	多摩東グループ	東京井の頭	4	79.60	28	28	0
	東京羽田	4	69.55	54	52	-2		東京昭島中央	5	69.40	47	46	-1
	東京品川	4	79.57	47	49	2		東京武蔵国分寺	4	90.00	38	41	3
	東京大森	4	86.28	47	44	-3		東京小金井さくら	4	76.63	23	24	1
	東京品川中央	4	80.41	36	34	-2		東京国立白うめ	3	84.12	18	17	-1
	東京大井	3	80.20	19	18	-1		東京ピースウィングE	4	60.00	21	23	2
	東京イブニングロータリーサテライト	0	0.00	(4)	(4)	(0)		東京府中	4	87.64	53	51	-2
	東京田園調布	4	68.66	49	47	-2		東京調布	4	66.20	62	64	2
	東京港南マリン	4	70.00	22	22	0		東京多摩	4	79.53	30	32	2
	東京大崎	4	72.28	25	28	3		東京多摩せいせき衛星	4	56.25	(10)	(8)	(-2)
	東京蒲田	4	91.19	63	63	0		東京柏江	4	73.88	21	19	-2
	東京京浜	3	75.21	28	26	-2		東京稲城	5	69.76	30	31	1
	東京田園調布緑	4	68.81	27	26	-1		東京武蔵府中	4	83.50	45	49	4
	東京白金	4	81.70	26	30	4		東京たまがわ	3	73.02	21	21	0
東京高輪	3	75.00	22	22	0	東京多摩グリーン	4	77.12	28	28	0		
山の手東グループ	東京西	4	75.31	178	182	4	東京調布むらさき	4	85.74	67	70	3	
	東京城西	4	60.94	67	65	-2	東京iシティ	4	63.75	18	18	0	
	東京西南	3	82.23	55	58	3	Guam			65	65	0	
	東京原宿	4	71.88	16	16	0	Saipan			48	44	-4	
	東京杉並	4	78.09	34	39	5	Tumon Bay			65	65	0	
	東京神宮	4	75.86	30	29	-1	Northern Guam			29	31	2	
	東京恵比寿	4	77.90	115	120	5	Pohnpei			18	18	0	
	東京広尾	4	71.74	19	23	4	Palau			21	20	-1	
	東京渋谷	3	74.55	37	38	1	Guam Sunrise			17	17	0	
	東京六本木	4	75.00	50	48	-2	Truk Lagoon			8	8	0	
山の手西グループ	東京愛宕	4	71.30	30	31	1	Pago Bay Guam E			13	12	-1	
	東京世田谷	3	90.97	52	54	2	国内 90 クラブ計			4,465	4,542	77	
	東京目黒	4	77.27	36	39	3	地区 99 クラブ計			4,749	4,822	73	
	東京成城	4	76.10	21	19	-2	千代田グループ	69.48	多摩南グループ	79.84			
	東京世田谷南	4	75.27	91	89	-2	銀座・日本橋グループ	74.10	多摩中グループ	84.05			
	東京城南	3	61.11	37	36	-1	京浜グループ	76.84	多摩東グループ	76.01			
	東京山の手	4	84.47	61	66	5	山の手東グループ	74.07					
	東京成城新	4	81.36	26	28	2	山の手西グループ	78.00	PBグループ				
	東京青山	3	68.10	22	22	0			平均出席率	77.00 (PBGを除く)			
	東京自由が丘	4	89.99	20	17	-3							
	東京世田谷中央	4	96.77	15	16	1							
	東京米山友愛	3	65.00	31	33	2							
	東京米山ロータリーEクラブ2750	2	90.60	30	32	2							
	東京代官山	3	57.00	29	25	-4							

国際ロータリー第 2750 地区 2017-18 年度 ガバナー 猿渡 昌盛

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F 電話 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750

Rotary International District 2750 2017-18 Governor Sawatari Masamori

KOKURYU SHIBA-KOEN BLDG. 3F, 2-6-15 SHIBA-KOEN, MINATO-KU, TOKYO, JAPAN 105-0011 PHONE 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750

発行：ガバナー 猿渡 昌盛 (2017-18) Sawatari Masamori 2018

編集・制作：ガバナー月信・年次報告委員会 委員長 上岡 広紀 (東京武蔵府中) 副委員長 沢崎 和久 (東京町田)

委員 アンドリュー・ウォン (東京南) 松林 智紀 (東京中央)

竹平 時彦 (東京大森) 畑中 義雄 (東京白金) 西尾 孝幸 (東京西南)

ホームページアドレス

<https://www.rid2750.org>